

## 第31期目録委員会記録 No.2

### 第2回委員会

日時：2007年7月7日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：中井委員長，稲濱，平田，古川，横山，渡邊

欠席：なし

<事務局>磯部

#### [配付資料]

1. RDA第6,7章草案（2007.6.18改訂案）（117ページ-A4，事務局）
2. RDA Scope and Structure（2007.6.14改訂）（9ページ-A4，事務局）
3. RDA Element analysis（2007.6.14策定）（22ページ-A4，事務局）
4. RDA to FRBR mapping（2007.6.14策定）（8ページ-A4，事務局）
5. RDA第3章整理（第2次改訂案まで）（18ページ-A4，渡邊委員）
6. RDA第3章第2次改訂案のbackgroundおよび第4章への追加事項（要約）（4ページ-A4，古川委員）
7. RDA第3章第2次改訂案のbackground 付キャリアに関する記述例（整理）（5ページ-A4，平田委員）
8. DCMI Abstract Model（2007.6.4改定）（10ページ-A4，事務局）
9. NCR改訂の検討にあたり参考にすべき対象（4ページ-A4，中井委員長）
10. 第31期目録委員会記録No.1（2ページ-A4，事務局）
11. 第31期目録委員会名簿（1ページ-A4，事務局）

#### [報告・連絡事項]

1. 日本目録規則1987年改訂3版の増刷について  
増刷分は完成した。初刷からの正誤表をWWWに掲載する。
2. 委員の補充について  
大学図書館勤務者について、数名の候補があがった。委員長より打診を行う。
3. その他
  - ・平田委員から、6月8日に開催されたNIIオープンハウスのワークショップ「図書館目録の将来」について紹介があった。
  - ・横山委員から、昨年のIME-ICC4に関わる諸文書の翻訳・出版の進捗状況について説明があった。

#### [検討事項]

1. RDA第3章第2次改訂案について  
渡邊委員から、配布資料5に基づき、本改訂案の各条項と前案からの異同について説明が

あった。続いて古川委員から、配布資料6に基づき、本改訂案の考え方等について補足説明があった。次いで平田委員から、配布資料7に基づき、本改訂案を適用した場合のMARC変換例等について説明があった。特に、以下のような指摘・意見があった。

- ・ 配布資料3によると、4月のJSC会議の結果、注記をエレメントごとではなく章末に集中させるなど、本章の構造はさらに見直される模様である。
- ・ 全体にFRBRで設定された「属性」に準拠した、エレメントの設定になっている。当初の草案ではFRBRから離れた条項設定もあったが、パブリックコメントとして寄せられた意見にはFRBRに忠実であれというものが目立ち、最近の案ではその方向が打ち出されている。
- ・ NCR1987年版改訂3版で和古書・漢籍に関わる条項を整備したが、第3章「書写資料」の「その他の形態的細目」が挿図等のみで材料などの記録に及んでいない点は、今回のRDA草案に照らして振り返ると、不十分であった。

## 2. 当面の検討課題と役割分担について

中井委員長から、配布資料9に基づき、「NCR200X年版」を検討していくうえで動向に注意を払うべき事項を、目録規則に直接関わる「基本的なスキーム」、シンタックス言語や目録規則以外のメタデータ規則などの「関連するスキーム」、目録政策やWeb技術などの「目録をめぐる動向」に分けて、説明があった。意見交換を行い、次のような指摘・意見があった。

- ・ 今後、各種動向調査とともに、NCRに関わる諸課題を整理していく作業が必要である。
- ・ NCR1987年版には、書誌階層と記述独立方式という面で独自性があり、我々なりの理論化が必要である。
- ・ NCRは標目の部分が手薄であり、次期改訂では十分に考える必要がある。
- ・ 規則自体の構文表現や頒布方法等についても、過去に行ったSGML化の経験などを踏まえ、今後考えていく必要がある。
- ・ DCMIのAbstract modelのような「データモデル」にも、一定の目配りが必要である。

次回は、次の役割分担で重要資料のレビューを行うこととした。

### RDA関係

改訂草案第6章（稲濱）、同第7章（平田）、同前文、Scope and Structure（古川）  
Element Analysis（渡邊）、FRBR mapping（渡邊）

### FRAD草案（横山）

また、重要な事項について、次の役割分担で動向を継続的にチェックしていくこととした。

FRBR（古川）、FRAD（横山）、IME-ICC（横山、渡邊）、ISBD（稲濱）、  
RDA関係（古川）、LC（平田）、DCMI（中井、稲濱）、CIDOC CRM等（渡邊）

さらに、将来NCR改訂作業を開始するにあたっての方針を固め、『図書館雑誌』に発表することを前提とし、方針検討案の作成を委員長が行っていくこととした。

次回の委員会の予定

9月15日（土）

以上